

## 第2子以降の保育料完全無料化へ 明石市方針

明石市は今年9月から、第2子以降の保育料を完全無料化する。開会中の3月定例市議会に提案した平成28年度当初予算案に、事業費を盛り込んだ。認可保育所と幼稚園、こども園に通う子供が対象で、保護者の所得による制限を設けず、第1子が何歳かも問わな

い。同市は「第2子を完全無料化するのは近畿で初めて」としている。

現行の保育料は、保育所では第1子が就学前、幼稚園では第1子が3歳〜小学3年生の場合、第2子は半額で、3人目以降が無料。これに同市は、独自の施策として無料化を拡大する。

対象となる子供は平成27年度で約3700人。

同市の保育料の平均月額額は、公立保育所2万2400円▽私立保育所2万2600円▽公立幼稚園6千円▽私立幼稚園1万5800円。市は来年度の年間事業費を約4億2千万円と推計している。

市はこのほか子育て支援として、認定こども園を2園(計100人)新設したり、保育所や保育所分園を10園(計900人)程度増やしたりする計画。これらを含む待機児童対策として当初予算案に計約18億9千万円を計上した。同市の待機児童は今年2月1日時点で464人だという。

泉房穂市長は「子供を産みたいのに経済的な要因で控える夫婦がいるのは、社会に責任がある」としている。